

【島のくらしの情報】

利島村

<p>① 仕事(収入)の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・島の求人情報は、社員・職員の空きが出た際に募集をする状況となっています。 ・島の第一次産業の椿農家への新規参入は土地等の問題があり難しい状況です。 ・専業で一つの仕事をされている方は少なく、ほとんどの方が兼業をしています(農業+漁業、農業+民宿、建設業+漁業など)。 ・利島村のホームページでは、島内の求人掲載していますので、下記よりご確認ください。 <p>●お問い合わせ:総務課 電話04992-9-0011 http://www.toshimamura.org/life/job#job791</p>
<p>② 住居の状況 (貸家、空き家など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・島内には村営住宅(31戸)が整備されています。家賃は前年の給与により換算されますが1.5~8万円/月となっています。 ・世帯用の部屋割は3LDK、単身用は2DKが基本となっています。 ・現在、移住者が増えている影響で空き家は少なくなっています。
<p>③ 医療環境の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利島村診療所が1軒あります。医師が1人、看護師が2人常勤し、住民の健康を守っています。 ・時間外の対応は、村役場が窓口となり医師へ連絡を入れ対応する24時間体制となっています。 ・急患は東京消防庁のヘリコプターなどで都内の総合病院へ搬送しています。 ・妊産婦は、本土の病院での検診・出産が必要となります。 ・15歳未満(丸乳、丸子)は医療費が無料になる助成を実施しています。 ・歯科は1ヶ月に1度(5日間)、島外から理学療法士が来島し診療を行っています。
<p>④ 福祉環境の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会が1ヶ所あり、村からデイサービスの委託も受けています。 ・毎月1回、子ども広場を開いて保健師による乳幼児のサポート(子ども広場)を行っています。 ・リハビリ事業は、2ヵ月に1度、内地より先生を招いて実施しています。
<p>⑤ 教育環境の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・島には利島小中学校が一つあります。小学生25人、中学生4人、教職員22人。 ・子どもが人数が少ない分、手厚い教育を行っています。 ・島に高校はなく、島外の高校へ通学しています。以前は隣の伊豆大島や新島の高校に進学することが多かったですが、近年は内地(都心)の高校へ進学することが主流となっています。 ・離島修学支援金制度/島外への高等学校へ進学した子ども1名につき、月3万円の支援金を補助しています。 <p>○お問い合わせ:利島村教育委員会 電話04992-9-0331</p>

<p>⑥ 上下水道・電気・ガスの状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・島内の簡易水道の施設状況(普及率)は100%です。島内の水道水は天水(雨水)を急速濾過した水と、海水を汲み上げて脱塩した水を飲料水や生活用水として利用しています。 ・住宅の汚泥浄化槽の施設状況(普及率)は100%です。現在、し尿処理施設の建設が計画されています。 ・ガスはプロパンガスで、農協が管理しています。 ・電気は、島内にある火力発電所(東京電力)を利用しています。
<p>⑦ 本土との交通手段(費用、時間、便数など)</p>	<p>【東京港竹芝】アクセス ゆりかもめ竹芝駅より徒歩1分、JR浜松町駅より徒歩8分 ○大型客船(1日1便) 大人1名2等@4,880(変動有り) 22時00分竹芝発、翌朝7時40分利島着(発着時間は季節により変動有り) ○高速船(1日1便) 大人1名 @8,030(変動有り) 8時40分竹芝発、10時25分利島着(発着時間は季節により変動有り) 【下田港】アクセス 伊豆急下田駅よりタクシーで約7分、徒歩20分 ○客船(1日1便) 大人1名2等@4,330(変動有) 9時20分下田発、10時55分利島着(毎週火曜日、金曜日、日曜日就航) 【調布空港発、伊豆大島経由】アクセス 京王線調布駅またはJR中央線武蔵境駅 ○セスナ+ヘリコプター(毎日就航) セスナ@11,800、ヘリ@7,230 合計@19,030 10時00分調布発、10時25分大島着、11時50分大島発、12時00分利島着(毎日運航中)</p> <p>※運航時刻、運賃については変更になる場合がありますので、必ず各社HPでご確認ください。</p>
<p>⑧ 島内の交通手段(費用、便数など)</p>	<p>島内には公共交通機関やレンタカー・レンタバイク・レンタサイクル業者もないため、基本は徒歩での移動になります。車については、宿泊される宿に相談してもらえば貸してもらうこともできます。</p>
<p>⑨ 買い物場所・物価の状況</p>	<p>【買い物場所】 農協の購買店1軒、その他小さい商店が4軒ほどあります。 【物価例】 2015年9月の価格 米(コシヒカリ5kg)3,700円、ティッシュペーパー(5箱入り1パック)583円、ガソリン(1L)170円、灯油(18L店頭売り)2,520円 ※このほか、野菜などは自家栽培している方が多くいます。近所の方と仲良くなると、野菜や魚などのお裾分けも多くなります。</p>
<p>⑩ これまでの移住実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・H25年～H28年10月現在で26人がUターン(結婚を含む)、島出身者も2世帯3人がUターンしました。 ・結婚祝金として5万円(住所要件、居住実態が必要)。出産助成金として第1子より50万円を支給しています。 ※出産助成金は、2012年4月より増額されました(以前は30万円)。第2子以降もそれぞれ50万円の支給となります。 双子などの複数出産の場合は、子どもの数により支給されます(双子の場合は100万円)。 ・アイランダーでの求人募集をきっかけにより5世帯(8名)が移住されています。

<p>⑪ 移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況</p>	<p>・面接による来島については、会社により旅費の負担有り。</p>
<p>⑫ 移住にあたっての支援の状況</p>	<p>・主だった移住支援は行っていません。</p>
<p>⑬ そのほか島での暮らしぶりについて伝えておくべき必要な情報</p>	<p>・伊豆諸島の中で伊豆大島の次に都心から近い島ですが、船の就航率が低いため、近くて遠い島と言えます。真冬は季節風の影響で、一週間近く船が着かないこともありますので、気が短い人でも、いつの間にか大らかにならざるを得ない、そんな島です。人口も300人と少ないため、人と人の距離が近く、良い意味でも悪い意味でも見られている環境です。そんな環境を煩わしいと思うか、それとも楽しめるかによって、島で生活していけるかの目安になると思います。</p> <p>・行事への参加は基本的には強制ではありませんが、積極的に参加する気持ちが必要です。</p> <p>・自ら地域に溶け込もうとする人は、島に馴染むのも早いです。</p> <p>●お問い合わせ:総務課 電話04992-9-0011</p>